

1. 総合水試ふれあいフェア“遊ぼう・学ぼう・お魚プラザ”

事務局：企画開発推進室

総合水産試験場は、「開かれた試験場」として水産業界の要望に即した試験研究を積極的に取り組むとともに、施設を広く県民へ開放し、特に次代を担う子供たちに対し、水産業への興味と理解を深めさせる役割を担っている。その一環として、10月17日（日）に長崎魚市場で開催された「魚まつり」と連携し、当事業「総合水試ふれあいフェア“遊ぼう・学ぼう・お魚プラザ”」を開催した。

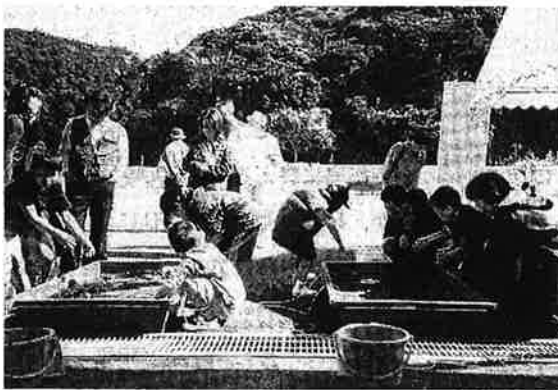
フェアには小中学生を中心とした子供たちやその父兄など858人が魚市場と結んだ無料シャトルバス等を利用して来場し、非常に有意義な催しとなった。主なイベントの内容と来場者の様子などについてその概要を報告する。

1 イベント広場

種苗量産技術開発センター前の作業広場にテントを設営し、3つのコーナーを設けて、来場者参加・体験型のイベントを実施した。

(1) お魚ふれあいコーナー

子供たちが、小型水槽に入れてある巻貝殻やヒトデ、ナマコ、小魚など磯の水産生物に直にふれて、楽しそうに体験学習した。



(2) お魚なぜなぜ〇×クイズ

広場の中央に〇と×のエリアを設け、参加者に水産関係の簡単なクイズを答えさせ、賞品を配布した。

クイズは2回実施し、1回に20問出題した。参加者の多くが全問正解し、パーフェクト賞を獲得した。



(3) ロープの結び方教室

日常生活で役に立ち、知っておくと便利なロープの結び方を実演指導する「ロープの結び方教室」を開設。参加者は、実際に結び方を担当者から学ぶとともに、帰ってからも練習できる様、わかりやすく図解したパンフレットと練習用ロープをプレゼントされた。

2 調査船等の一般公開

水試調査船「鶴丸」(108トン)や、水産庁西海区水産研究所調査船「陽光丸」(499.76トン)を一般公開し、見学者は船内や展示したパネル、写真などを熱心に見て巡っていた。

また、棧橋では、体長約20cmのブリ幼魚を用いて参加者自ら標識し、放流を体験するコーナーを設けた。子供たちだけでなく、大人も興味を示し、いつ大きくなって戻ってくるか、どこまで行くのかなど多くの質問が寄せられていた。

3 総合水産試験場の研究内容、コンピューターシステム等の紹介

本館研修室において、大型スクリーン映像による長崎県の水産業や総合水産試験場の役割と研究内容、人工衛星システムを利用した海水温情報などの紹介を行った。

また、「TV会議システム」や「インターネット」、「水産関係コンピューターゲーム」などを利用したコンピューター体験学習コーナーを開設し、特にコンピューターゲームでは子供たちの順番を待つ列が出来るほど人気を博していた。

研修室の廊下には、栽培漁業や資源管理型漁業、漁場環境調査などを紹介したパネルや調査機器の展示を行った。特に今年は、漁海況週報を新聞に掲載してから40年目にあたることから「漁海況週報の歴史」を展示、紹介して関心を集めていた。

4 水産加工開発指導センターの紹介

加工センターの加工実験室を開放し、パネル展示による加工センターの業務内容や加工機器などの紹介、加工製品サンプルの展示などを行うとともに海藻麵、ワカメパンの試食コーナーが設けられた。

会場には、多数の見学者が訪れ、担当職員に対し熱心に多くの専門的な質問がなされた。また、試食も好評で用意した数がまたたく間になくなった。



5 種苗量産技術開発センターの紹介

種苗量産棟の内部を開放し、生産している魚介類の親魚や稚魚などを収容した水槽を展示し、また、量産センターの役割や魚介類の種苗生産方法などを紹介したパネルにより見学者に理解を深めてもらった。

ブリ当才魚への給餌や底掃除機かす兵衛の運転コーナーでは、楽しみながら子供達が体験していた。



6 その他

本館ロビーの大型円型水槽（5トン）や小型水槽による「長崎県のさかな」の観察・学習、展示室「まむ・ぱあく」（Marine Amusement Park）の5つのコーナーによるお魚クイズ、立体映像体験などに子供たちの関心が集まっていた。

また、各イベント会場に備えたスタンプを集めるスタンプラリーを実施し、全会場のスタンプをクリアした人に記念品を配布した。

今年のフェアは、同時開催の「魚まつり」と連携し、「魚まつり」のスタンプラリーのポイントにこちらの会場を加えてもらったことやシャトルバスの運行時間を15分間隔と短縮したことから、より多くの人に参加いただき、無事に終えることができた。反省点もいろいろあるが、事前準備や開催当日における担当職員の努力もあり、来場された方々には喜んでいただけたものと思われる。

（担当：池田）

2. 試験研究情報等の発信・収集事業

事務局：企画開発推進室

コンピュータシステムを利用して、人工衛星情報、水産研究文献情報、漁獲情報、魚病情報等の水産研究にとって有用な各種の情報を収集するとともに、「開かれた水産試験場」として、蓄積された情報をもとに各種情報の発信に努めた。

1) 試験研究情報の収集

(1) 人工衛星情報処理システム

人工衛星ノア12号及び14号より、九州近海の水温画像データをほぼ毎日受信した。得られた情報はただちに解析を行い、そのうちの一部のデータについてはFAX情報サービスシステムを通じて、情報提供を実施した。

平成11年度情報収集回数：のべ897回

(2) 文献データベース

主な水産関係の文献情報を118,116件収集し、データベース化を実施した。

(文献データベース累積件数)

○水産庁水産研究所関係	4,337件
○学会・研究会関係	24,419件
○大学関係	5,435件
○雑誌関係	3,299件
○水産試験場関係	34,255件
○海外文献関係	460,845件
計	532,590件

(3) 資源管理用漁獲統計データベース

県下各地の漁獲、水揚げについての詳細情報を漁獲情報のネットワークにより収集し、データベース化を実施した。

漁獲情報収集の対象地区は以下のとおり

() 内は地区数

長崎魚市場	(1)
佐世保市中央卸売市場	(1)
松浦地方卸売市場	(1)
厳原町漁協	(11) 本所, 久田, 浅藻, 豆酸, 久根浜, 佐須, 阿連, 曲, 久和, 内院, 瀬
上対馬町漁協	(8) 本所, 湾外, 比田勝, 泉, 豊, 鰐浦, 大河内, 唐舟志
峰町東部漁協	(1)
上対馬町南部漁協	(1)
壱岐東部漁協	(1)
神部漁協	(1)
五島漁協	(3) 本所, 富江, 三井楽
上五島町漁協	(1)
奈留町漁協	(1)
有川町漁協	(1) 有川
新魚目町漁協	(1) 北魚目第一
小値賀漁協	(2) 本所, 斑
生月漁協	(1)
志々伎漁協	(2) 本所, 宮の浦
小佐々町漁協	(1)
鹿町町漁協	(1)
佐世保市相浦漁協	(1)
平戸漁協	(1)
新星鹿漁協	(1)
薄香漁協	(1)
大瀬戸町漁協	(1)
長崎市東部漁協	(1)
長崎市新三重漁協	(1)

- 長崎市西部漁協 (1)
- 茂木漁協 (1)
- 野母崎三和漁協 (4) 本所, 樺島,
脇岬, 野母
- 小浜漁協 (1)
- 橘湾中央漁協 (1)
- 島原市漁協 (1)
- 県まき網組合 (1)

平成9年7月よりシステムを稼働させ、収集が可能となった地区より、過去の情報も含めて全魚種・全漁法にわたるデータを蓄積した。

データ新規登録件数 合計 4,972,671件
漁獲データベース累積件数 合計 14,399,721件

(4) 魚病情報データベース

県下各地の魚病発生情報を収集し、データベースへの登録を75件実施した。

魚病データベース累積件数 合計 2,124件

(5) 海況データベース

県下各海域の海況情報を収集し、データベースへの登録を24,263件実施した。

海況データベース登録件数 合計 62,107件

2) 試験研究情報の発信

(1) インターネットによる情報発信

インターネット上にホームページを開設し、以下の情報の提供を実施した。

(ホームページの主な内容)

- 総合水産試験場の施設の紹介
- 各部署ごとの業務の紹介
- 情報収集のためのアンケート
- 情報交流のための掲示板
- 漁海況情報
- 最新の試験研究話題のコーナー
- マリンラボニュース
- 水産関係リンクページ
- インターネットマムパーク

平成11年度来訪者アクセス回数 延べ8,850人

(2) 音声・FAX情報サービス

音声・FAX情報サービスの運用を行い、以下の情報の発信を行った。

- 漁海況情報
- 人工衛星による水温画像
- 定線観測情報
- 魚病情報
- 赤潮情報
- 最新試験研究情報
- 県内の漁具・漁法情報
- 長崎県水産試験場研究報告全文

システムによる情報発信件数 計 3,903件

(3) 機関誌の発行

平成11年10月および平成12年3月に「マリンラボ長崎だより」を発行した。

(担当: 一丸)

総合水試 情報収集発信関係 実績

(H12.3.31 現在)

●情報収集関係

	人工衛星情報 収集回数	文献データベース 登録件数	漁獲データベース 登録件数	魚病データベース 登録件数	海況データベース 登録件数
平成9年度	897	298,943	4,100,006	1,860	0
平成10年度	1,066	115,579	5,327,044	189	37,844
11年4月	61	8,359	385,242	4	2,815
11年5月	81	8,654	461,474	14	626
11年6月	67	9,100	381,973	8	2,725
11年7月	122	10,085	354,747	8	601
11年8月	130	15,327	553,921	12	2,731
11年9月	75	8,865	646,704	4	1,558
11年10月	34	10,953	602,677	4	1,717
11年11月	75	7,547	857,621	8	1,766
11年12月	51	8,822	138,680	2	1,749
12年1月	63	8,922	54,477	2	2,698
12年2月	43	10,519	100,918	4	2,633
12年3月	95	10,963	434,237	5	2,644
平成11年度	897	118,116	4,972,671	75	24,263
合計	2,860	532,638	14,399,721	2,124	62,107

●情報発信関係

	(Home Page) 訪問者数	音声・FAX情報 サービス利用件数	そ の 他
平成9年度	3,277	2,168	機関誌2000部
平成10年度	6,635	3,308	機関誌2000部
11年4月	520	267	
11年5月	563	236	
11年6月	527	308	
11年7月	618	465	
11年8月	982	683	
11年9月	1,015	310	
11年10月	825	352	機関誌1000部
11年11月	512	275	
11年12月	615	233	
12年1月	728	236	
12年2月	824	247	
12年3月	1,121	291	機関誌1000部
平成11年度	8,850	3,903	機関誌2000部
合計	18,762	9,379	機関誌6000部